

栃木県道路施策検討有識者懇談会 (第6回)

有料道路の現状について

- 日光宇都宮道路(日光道)

令和8(2026)年8月28日

※有料道路関係のみ抜粋

R 5.10.12 第2回

- ・有料道路の現状と課題等について
 - ①宇都宮鹿沼道路（さつきロード）
 - ②日光宇都宮道路（日光道）

R 6.3.21 第3回

- ・有料道路の今後の管理・運営のあり方について①
 - ①宇都宮鹿沼道路（さつきロード）
 - 基本的な考え方・検討プロセスについて
 - あり方（無料化・料金徴収期間延伸 等）の方向性について

R 6.12.24 第4回

- ・有料道路の今後の管理・運営のあり方について②
 - ②日光宇都宮道路（日光道）
 - 基本的な考え方・検討プロセスについて

R 7.3.7 第5回

（前回）

- ・有料道路の今後の管理・運営のあり方に関する提言とりまとめ

R 8.8.28 第6回

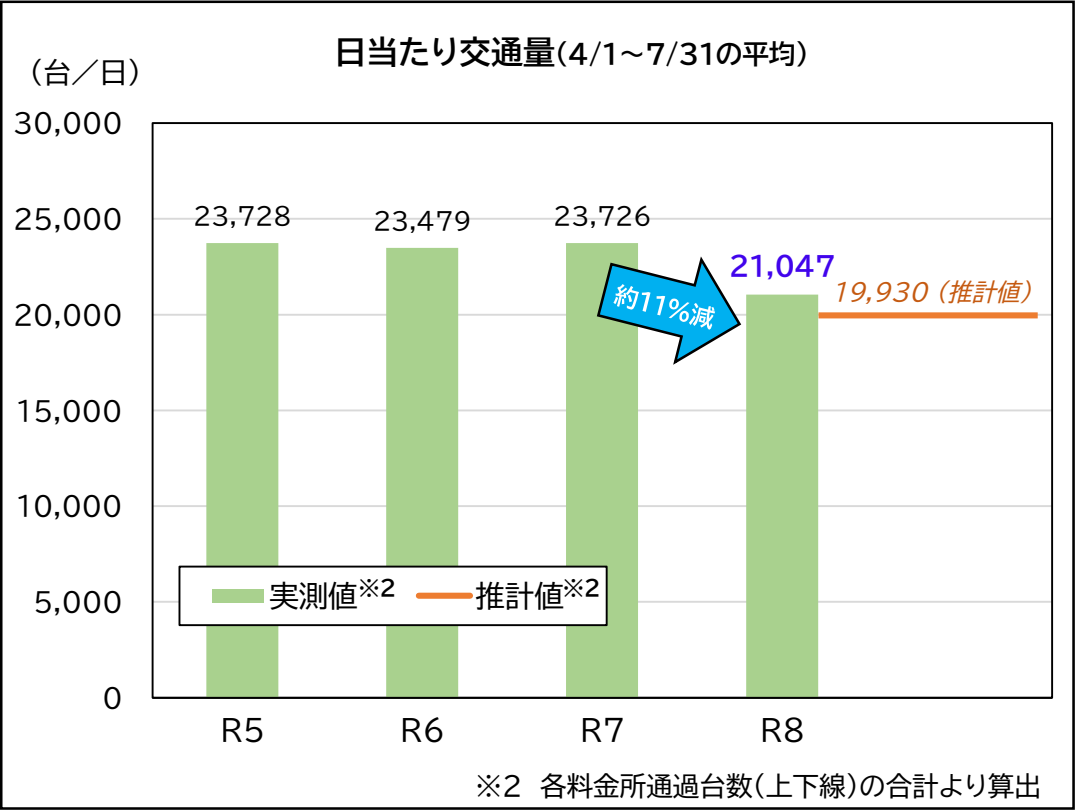
（今回）

- ・有料道路の現状について
 - 日光宇都宮道路（日光道）

- 令和8年4月1日から料金改定を実施し、その後の交通量の推移を確認
- 日当たり交通量は、前年度比で約11%減少したが、概ね推計値どおりの交通量であった。

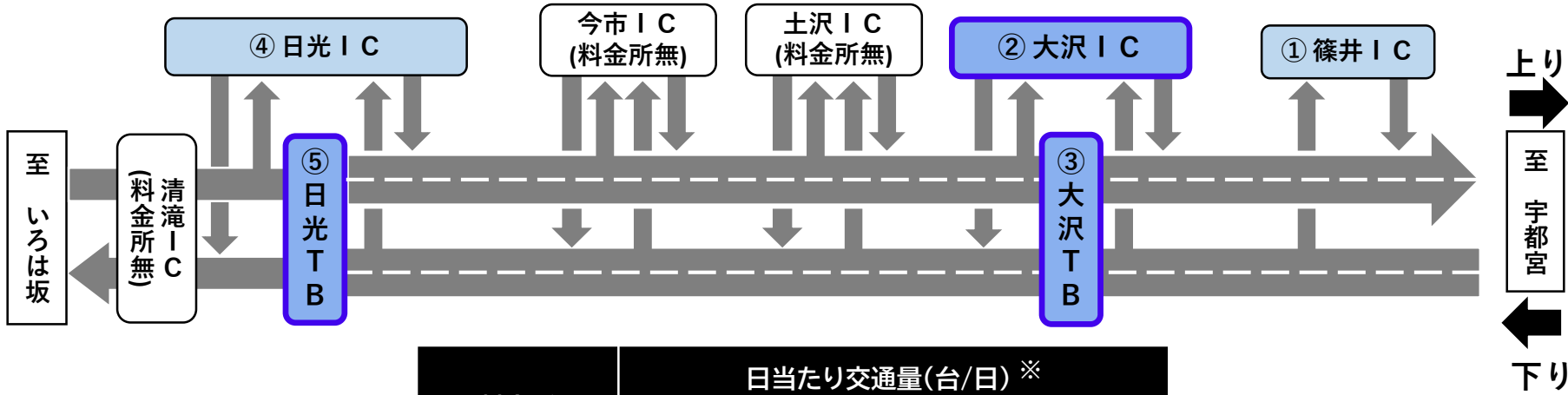
料 金（普通車の場合）		
区 間（例）	改 定 前	改 定 後
宇都宮－大沢 間	通常料金 210円	260円
	割引後料金 110円※1	
宇都宮－日光 間	通常料金 420円	550円
	割引後料金 310円※1	
宇都宮－清滝 間	通常料金 470円	670円
	割引後料金 360円※1	
＜ 参 考 ＞ 1km当たり料金		
日光宇都宮道路	15.3 円/km	21.8 円/km
高速道路 （普通区間）	24.6 円/km	

※1 閑散期割引(12月～4月)、ETC時間帯割引(17時～9時)が適用された料金で令和8年4月1日以降は廃止



●料金所別の交通量の推移を確認

○ 日当たり交通量は、②大沢IC・③大沢TB・⑤日光TBにおいて前年度比の減少率が高かった。



料金所	日当たり交通量(台/日) ※		
	R7	R8	増減(R7→R8)
①篠井IC	1,069	1,063	－ 6(約 1%減)
②大沢IC	5,505	4,773	－ 732(約13%減)
③大沢TB	9,432	8,298	－ 1,134(約12%減)
④日光IC	3,920	3,615	－ 305(約 8%減)
⑤日光TB	3,801	3,299	－ 502(約13%減)

※ 「4/1～7/31」における料金所通過台数(上下線)の合計より算出

社会資本整備審議会 道路分科会 第70回国土幹線道路部会(令和7年12月25日)
【議事】首都高速道路料金の検討状況について(報告)

首都高の持続可能な道路サービスに関する検討会

＜設立趣旨＞

近年の会社を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、今後とも持続可能な道路サービスに向けた課題と対応について専門的見地から検討し、提案することを目的に設立

＜審議の経過＞

- 2025年10月27日（月） 第1回検討会 首都高速における道路サービスの状況 等
- 2025年11月14日（金） 第2回検討会 持続可能な道路サービス提供に向けた現在の状況 等
- 2025年12月 1日（月） 第3回検討会 持続可能な道路サービス提供に向けた対応の検討 等
- 2025年12月19日（金） 第4回検討会 中間とりまとめ（案）に関する検討
- 2025年12月24日（水） 第1次とりまとめ公表(HP掲載)

＜委員名簿＞

お 太田	かずひろ 和博（座長）	専修大学 商学部 教授
か 加藤	かずせい 一誠	慶応義塾大学 商学部 教授
く 楠田	えつこ 悦子	モビリティジャーナリスト
こう 河野	やすこ 康子	（一財）日本消費者協会 理事
しみず 清水	てつお 哲夫	東京都立大学 都市環境学部 教授
たけおか 竹岡	けい 圭	日本自動車ジャーナリスト協会副会長
たにぐち 谷口	あやこ 綾子	筑波大学 システム情報系 教授
なかむら 中村	ふみひこ 文彦	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任教授
ねもと 根本	としのり 敏則	敬愛大学 情報マネジメント学部 特任教授
よしの 芳野	たまみ 珠美	株式会社 JAF メディアワークス「JAF Mate」編集長

国土交通省HPより抜粋

社会資本整備審議会 道路分科会 第70回国土幹線道路部会(令和7年12月25日)
【議事】首都高速道路料金の検討状況について(報告)

第1次とりまとめ 概要

1. 会社が果たすべき役割

○ 道路サービス提供者としての責務

首都高速道路(株)(以下、会社)は、首都圏の大動脈である首都高速道路(以下、首都高)の維持・管理・運営に責務を負う極めて公共性の高い企業であり、首都圏の経済・生活を支える重要インフラである都市高速道路ネットワークの着実な整備を業務としている。

○ 有料道路事業者としての責務

借入金によって都市高速道路整備を行う有料道路事業者として、健全な経営と公平で利用しやすい料金のもと、24時間365日にわたって安全・安心・快適な道路サービスの提供を確実に行いつつ、(独)日本高速道路保有・債務返済機構への貸付料の支払を通じて、債務を確実に返済する責務がある。この責務は道路整備特別措置法に定められたものである。

2. 財務状態に関する認識と対応方針

○ 会社はこれまで、償還を確実にするため、民営化時に目標とした対距離料金への移行を目指し、段階的に料金体系の見直しを進めてきた。その際に、負担増となる長距離利用に対して、激変緩和の観点から、上限料金や大口・多頻度割引の拡充等を順次実施してきた。

○ この間、コスト縮減等の経営努力に加え、堅調な交通量による安定した料金収入、低金利下での資金調達、デフレ下における物価の安定といった僥倖とも言えるべき要因により、大規模な割引を実施しながらも会社は必要な料金収入を確保し、持続可能な経営を維持することができた。

○ しかし、少子・高齢化が進む中で交通量の大幅な増加が見込めず、加えて金利が上昇局面にあり、また近年の急激な労務費・材料費の高騰等により維持管理コストが大幅に上昇し、会社によるコスト縮減努力での対応は限界を迎え、現行の料金水準・料金体系では償還に支障をきたす状況に陥りかねない。もはや僥倖は消失したのである。

○ 今後の対応として、利用者負担の原則に基づき、料金の見直しを早急に行う必要がある。その見直しは、利用距離に応じた負担額である料率(キロ当たり料金額)の全車種における引き上げ、大規模な割引の縮小・廃止などからなる。

○ 会社による当面5年間の収支の試算によると、今年度末に措置切れとなる大口・多頻度割引の拡充措置を廃止せず、労務費・材料費の高騰等が継続した場合、償還を確実に進めるためには、年間約500億円が不足すると見込まれている。その内訳は、大口・多頻度割引の拡充の継続による年間約300億円の減取と、労務費・材料費の高騰による維持管理コストの年間約200億円の増加である。

○ 具体的な対応策としては、労務費・材料費の高騰による維持管理コストの増加について料金徴収期間満了まで対応することを基本に、「大口・多頻度割引の拡充措置を当初計画どおり終了した上で料率を引き上げる」「拡充措置は直ちに終了せず5年後に終了し料率を引き上げる」「拡充措置の縮小と料率の引き上げを組み合わせる」などの方法が考えられる。償還を全うするこれらの方法は、何れであっても、料率の大幅な引き上げを伴うことになる。

○ しかしながら、昨今の物価上昇により国民生活や経済活動が厳しい状況にあり、政府において緊急経済対策を進めている中で、上記のような大幅な料金の見直し等を実施することは慎重に検討する必要がある。

○ 仮に料率を約1割引き上げた場合、料金変更による交通量の影響も考慮すると、料金収入は年間約200億円増えると想定されるが、残る約300億円については将来の利用者に、より多くの負担が及ぶことを意味する。

3. 会社がなすべき事項

○ 良質な道路サービスの持続的な提供

償還が厳しい状況にあるとしても、不断の経営努力を持続し、利用者の安全・安心を最優先に良質な道路サービスを提供し続けなければならない。

○ 真摯な現状認識と主体的な対応

2に提示した会社の現状を全社で真摯に受け止め、危機意識を共有する必要がある。そして、主体性をもって早急に必要な措置を講じなければならない。

○ 有料道路事業に関する本質的な説明

償還のための料金支払と言う有料道路事業の本質が利用者や国民各層に広く理解されているとは言えない。有料道路事業の持続的な維持には利用者等の理解は不可欠であるため、責任ある説明をしなければならない。

社会資本整備審議会 道路分科会 第70回国土幹線道路部会(令和7年12月25日)

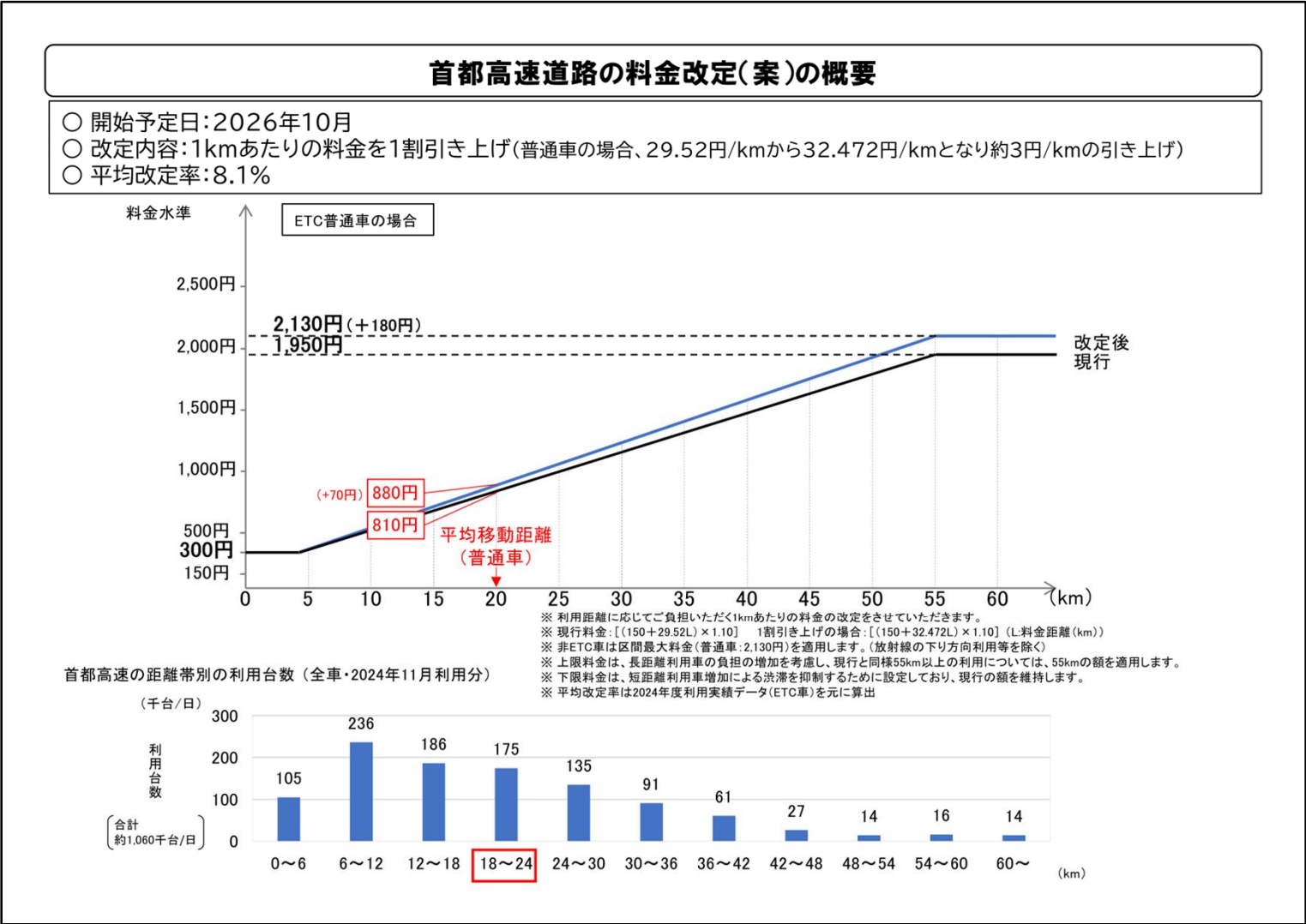
【議事】首都高速道路料金の検討状況について(報告)

○しかし、少子・高齢化が進む中で交通量の大幅な増加が見込めず、加えて金利が上昇局面にあり、また近年の急激な労務費・材料費の高騰等により維持管理コストが大幅に上昇し、会社によるコスト縮減努力での対応は限界を迎え、現行の料金水準・料金体系では償還に支障をきたす状況に陥りかねない。もはや僥倖は消失したのである。

○今後の対応として、利用者負担の原則に基づき、料金の見直しを早急に行う必要がある。その見直しは、利用距離に応じた負担額である料率(キロ当たり料金額)の全車種における引き上げ、大規模な割引の縮小・廃止などからなる。

第1次とりまとめ 概要より抜粋

社会資本整備審議会 道路分科会 第70回国土幹線道路部会(令和7年12月25日)
【議事】首都高速道路料金の検討状況について(報告)



国土交通省HPより抜粋

※有料道路関係のみ抜粋

- R 8 . 8. 28（本日） 第 6 回有識者会議**
- ・ 有料道路の現状について
 - 日光宇都宮道路（日光道）

- R 8 .10月（予定） 交通量調査（旧・宇都宮鹿沼道路（さつきロード））**

- R 8 下半期（予定） 第 7 回有識者会議**
- ・ 有料道路の現状について
 - 日光宇都宮道路（日光道）
 - 旧・宇都宮鹿沼道路（さつきロード）